

■ 従来の洗剤と【アースクリーン：シリーズ】の違い

従来の洗剤とアースクリーンとの違いを下表にまとめます。

比較項目	従来の洗剤	【アースクリーン】
価格・使用方法	きわめて安い。原液で使用。 きわめて高い。200～300倍希釈。	5～500倍希釈使用。
油の物性	高分子状態を維持。 油の自然分解がしにくく、油が腐敗し悪臭が発生しやすい。 スポンジやたわしに油が残る。	微細化。 油が残らないため悪臭の発生が抑えられる。 スポンジやたわしに油が残らない。
発泡性	大。 すすぎ時間や水量も大。	低泡性。 すすぎ時間や水量も少。
自然分解性	難分解。	分解しやすい。
水素イオン濃度	一般にアルカリ性。	中性。
使用湯温	常温～高温。	常温～40℃以下。
臭い	一部香料入り。	無臭。
着色料	一部着色剤入り。	無着色。
界面活性剤	20～70%。	10%以下。
人体への影響	肌荒れ、爪割れ。	無害。
施設への影響	排水管、桝、側溝でのつまり。 オイルボールの発生。	排水管、桝、側溝でのつまり解消。 オイルボールの発生なし。

※流出油対策として使用する場合。

中和の状態	白濁し、油分の再凝集がある。	水中に分散し、最凝集はない。
舗装・塗装面への影響	舗装面をぼろぼろにする。 塗装面を剥離させる。	水系であるために舗装や塗装面をいためない。
備蓄量	石油生成品のため消防法上で一定量以上の備蓄不可。 届出が必要。	水系なので制限なし。 届出不要。